



GAOT

Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人

群馬県作業療法士会ニュース

「からっ風通信」

第129号 2017年7月発行

巻 頭 言

生涯教育制度、活用できていますか？

群馬県作業療法士会 学術局 教育部
立澤由美子 (上毛病院)



生涯教育制度を活用できているでしょうか。

昨年度まで協会の生涯教育制度推進担当者を務めさせていただき、県士会員への生涯教育制度の周知や推進、生涯教育に関する質問への回答などを行っていました。同時に県士会の中でも教育部・生涯教育システムグループで活動してきました。

また、現職者共通研修の生涯教育制度概論というテーマで制度の概要やカリキュラムの進め方、認定作業療法士、専門作業療法士についての情報伝達などをさせてもらっていますが、力不足を感じています。というのも、残念ながら群馬県の基礎研修修了者率や認定作業療法士修得率は47都道府県では下から数えたほうが早いところにあります。もちろん、積極的に習得されている方もいます。

毎年1回47都道府県の推進担当者が集まり、現状報告や課題についての検討、協会の方向性など多くの内容が取り扱われています。多くの士会で養成校の卒業者や士会の会員数は徐々に増えているのに、参加者は減っているという課題があがっています。研修の数も増え、休みも不規則になっていることも要因だろうと推察されています。

作業療法士の、理念や倫理的な基礎を築き、臨床での活躍を支えるために、主に新卒者から5年程度での終了を目指して研修カリキュラムは組んであります。

群馬県士会でも10テーマすべてを1年で履修できるよう、教育部が研修の企画・運営を行っています。

現職者共通研修はテーマや講義内容のアウトラインは協会に規定されていますが、実際の講義では、講師のこれまでの経験や研鑽に基づいた興味深い話も聞けるのです。90分ワンコインでお得じゃないですか？すでに履修済みの方が再度聴講することも大歓迎です。

生涯教育手帳はありますか？？

「生涯教育手帳がどこかに行ってしまった」という方は、協会事務局へ手帳再交付の申請をする必要がありますが、群馬県士会での過去の履修(現職者共通研修・選択研修参加履歴)についてはさかのぼって調べることも可能です。ご一報を。

一般社団法人群馬県作業療法士会 第7回総会議事録

日 時：平成29年6月25日(日)11:40～12:40

場 所：群馬大学 中講堂

議 長：小林芳行氏(前橋医療専門学校)

定 数：全会員数 799名、出席数 44名
委任状 469名、議決権数 計 513名

議決権数が会員数の過半数を越え、総会は成立となった。
※総会資料の訂正を行った。(氏名変更、財務会計報告)

〈第1号議案 平成28年度事業報告〉

(1) 第1号議案は賛成多数でかけつ承認された。

〈第2号議案 平成28年度歳入歳出決算書・監査報告〉

(1) 第2号議案は賛成多数で承認された。

〈第3号議案 平成29年度事業計画及び予算案〉

(1) 第3号議案は賛成多数で可決された。
新井会長より、地域作業療法推進部の発達支援グループについて、名称を「特別支援推進グループ」から「発達支援推進グループ」と変更したと報告があった。

〈第4号議案 第18回群馬県作業療法学会 学会長承認の件〉

- (1) 第21回群馬県作業療法士学会 学会長に、北・中央ブロック支部 高橋久美子氏が推薦された。
- (2) 第4号議案は賛成多数で承認された。

〈第5号議案 役員改選の件〉

(1) 第5号議案は賛成多数で承認された。

〈第6号議案 その他〉

特になし。

一般社団法人群馬県作業療法士会 平成29年度 第1回理事会議事録

日 時：平成29年4月27日(水) 19:00～

場 所：住宅公社ビル(事務局) 3階会議室

出席者：新井・関根・勝野・品田・高橋・市川・立澤・都丸・
長谷川・山口・小林・中澤

I. 報告事項

【会長】

- (1) 都道府県47委員会の報告
 - 1) 厚生省 効果的な介護予防を進める方針(自立支援)⇒リハ職への依頼、適宜迅速に対応。
 - 2) 生活行為工夫情報モデル事業の募集
 - 3) 排尿自立指導料⇒リハはPTのみであったが、Q&AでOTもOKとなった。
 - 4) 児童発達支援センターを各市町村へ(OTの配置を促進していく)。協会担当窓口については勝野氏へ推薦者検討を依頼
 - 5) MPDLPプロジェクトは終わる。群馬356/800

43%全国の中では高い方。

- 6) 運転作業療法委員会
免許センターにナースが在籍。今後OTも配置される方向になってきている⇒今後運転に関する指針を作っていく。
- 7) 託児所について
全国アンケートでは設置、非設置は半々。県学会や総会時に設置、金額も無料から千円～五千元。県士会としても今後検討していく。
- 8) 学生会員について
協会は検討中？だが、当士会としてはやってみてもよいのではないかと。県士会の活動に関わることは良いことである。養成校にもPRしてもらおう。
- 9) 今後5年かけて協会員＝県士会員となる方向。(WEBで入会手続きが出来るようになる)⇒各士会の実情もあるが、協会・県士会の入会手続きが1度で済み、会費納入も1度に出来き、財務部の負担も減る。

【事務局】

【OT協会】

OT協会50周年記念式典の事業報告会計報告を行った。

【市町村関連】

桐生市自立支援給付審査員の推薦手続きを行った。

【その他】

- (1) 事務員に関して、有期労働契約の更新手続きを行った。
- (2) 県士会員用団体傷害保険の更新(北栄)手続き、入金を行った。

【ブロック支部組織強化支援】

- (1) 第2回部門代表者会議の開催について

日時:H29.10.8(日)10:00~13:00

場所:群馬大学医学部保健学科

議事内容:①OT士会事業に関すること

②雇用実態調査アンケート結果報告

③ブロック別交流会

⇒ 交流の為のワークショップも検討して欲しい。

- (2) ブロック支部組織強化事業の事務局の主幹事業への移行⇒根拠として

- 1) 会員間の連携強化と会員管理システムの構築が主としており、本来的に事務局が扱う事業である。
- 2) ブロック支部組織強化事業を一次的なムーブメントに終わらせないためには、特設の部門ではなく、事務局の事業として取り入れて、継続できるように作る必要がある。③事務局の機能強化を図る事とブロック支部組織強化事業を進めていく事はほぼ内容的に同義である。

- (3) 事業内容について

H31年度までに向けて

- 1) 会員名簿の作成
施設代表者の明記と、連絡先メールアドレスの全施設の掲載をめざす。
- 2) 人材登録バンクの整備
- 3) メーリングリストの整備と運用
個人単位でのメーリングリストの登録システムの構築を行う。
- 4) 各ブロックの窓口設置と明記
- 5) HPの活用
研修会の予定や会員に対する情報提供、会員管理サービスの利用など包括的な運用を開始
- 6) 二次医療圏域の組織も目指す

【教育部】

- (1) 部長の交代 今村氏が新任

- (2) 新人症例発表会

日時:H29.4.16(日)

場所:渋川医療センター

発表者38名、聴講者74名、座長9名

教育部スタッフ30数名

優秀演題賞受賞者

中澤千奈美氏(群馬整肢療護園)

岸香穂氏(第一病院)

吉澤萌香氏(日高病院)

高池美友氏(日高リハビリテーション病院)

松浦薫氏(老健 ミドルホーム富岡)

- (3) 自殺対策事業

1) H28年度分の事業報告を県に提出した

2) H29年度事業計画については、昨年10月に県に報告した。

【地域作業療法推進部】

【地域包括ケア推進グループ】

- (1) H29年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業費補助金(介護従事者の確保に関する事業)
介護予防推進のための指導育成事業を実施する予定
内容:POSを対象とした研修等の事業

【認知症支援推進グループ】

H29年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業費補助金(介護従事者の確保に関する事業)

- (1) 認知症ケア研修事業を実施する予定
内容:介護施設・事業所の管理者等を対象に、認知症高齢者に対する介護サービスの質の向上を図るために行う認知症ケアに必要な知識や技術の研修の実施等に必要経費を補助⇒6/3(土)認知症初期段階の人への支援研修
- (2) その他に基礎コース(10月21.22)応用コース(H30.1月21)の研修会を予定している。

【特別支援教育推進グループ】

- (1) 特別支援学校機能強化事業専門職支援事業
作業療法士延べ派遣数 36件 対応児童件数33件
講義件数6件(小学校・地域の研修会5回
アドバイザー研修1回)講義参加人数80~100名
アドバイザー研修(特別支援学校専門アドバイザー約20名)
* ケースへの対応に加え学校教職員の研修講師の依頼が増加、作業療法士の視点や取り組みを紹介する回数が増加した。
- (2) OT協会パイロット事業
①H28.7月にアンケート調査実施、結果を踏まえ、OT啓蒙のためのリーフレット作成中。

⇒アンケート結果報告がH29年度作業療法学会で採
択されている。スペシャルセッションの指定を受け
た。

②県教育委員会との話し合いを経て、外部人材派遣
の継続を実施。今後身障分野或いは精神分野でも
対応可能なケースについては派遣を依頼してい
きたい。派遣事業の登録を要請していく。PT士会とも
話し合いを進めている。

(3) 保健分野での活動

5歳児検診が進められる中、OT士会への要望も多
くなってきている。

(4) 特別支援教育初任者研修に関わる対応

県教委主催の標記研修について、H28に続き29年も
講義依頼を頂き、実施させて頂く。(対象は初めて担当
する教職員、幼稚園教諭)

(5) その他

①研修会を実施。4/22小児医療センター
小児スプリントの勉強会 講師牛込氏

②定期研修会

奇数月の第3木曜日 19時～ anomiraにて

【生活行為向上マネジメント推進委員会】

(1) 研修会開催予定

H29.6.25(日) 群大中講堂 10:00～
MTDLP事例登録の書き方 及び事例検討会
講師：尾崎勝彦先生(サカイ脳神経外科 OT)

II. 審 議 事 項

- (1) H28年度総会資料について
リニューアルしてもよいのではないか？
- (2) 特別支援教育推進グループについて
組織図上、どこに所属とするのがよいか
⇒ 検討課題
- (3) 運転OTについて
協会は重点課題と考えている。推進委員会も設置。
県士会としても活動していく上で、委員会があった方
がよいのではないか ⇒ 検討
- (4) HPに関して
事務局へ移行していく
⇒ 時期については検討(都丸氏 長谷川氏)
- (5) ブロック支部組織強化支援
ブロック別交流会の件
⇒ 交流の為のワークショップも検討して欲しい。



事務局より…

【会 員】 796名 (4月27日現在)

【県士会ニュース等】

北海道：秋田県：東京都：神奈川県：茨城県：山梨県：長野県：石川県：福井県：兵庫県：愛知県：奈良県：大阪府：広島県
山口県：岡山県：香川県：高知県：長崎県：群臨技：群難連：群馬リハビリテーションネットワーク：群馬県言語聴覚士会：

第20回群馬県作業療法学会 演題募集

第20回群馬県作業療法学会が東毛地区での開催に向け企画中です。

開催日・場所・学会テーマが決定しました。

- ◎日 時 平成29年12月3日(日)
- ◎場 所 太田医療技術専門学校
- ◎学会テーマ 生活を観る作業療法
～みんなでQOLを考えよう～
- ◎学会長 池田 史恵 本島総合病院



演題募集

今回はポスター演題を予定しております。
演題募集は6月30日から開始予定です。

*詳細は演題募集の案内を会員の皆様に配布予定ですので、HPも合わせて
ご確認下さい。

県士会員の皆様の多くの応募をお待ち申し上げます。

今年は20回目という節目の年でもあります。県士会員の皆様のご協力をいただきながら、節目にふさわしい充実した学会にしたいと考えております。皆様に有意義な時間を過ごしていただけるよう、実行委員一同、力を集結して取り組んでまいります。

第20回群馬県作業療法学会 実行委員長 櫻田 真

第13回 日本シーティング・シンポジウム

日本で唯一の車椅子シーティングに関する学会です。

主 催：特定非営利活動法人 日本シーティング・コンサルタント協会

日 時：2017年11月18日(土)～11月19日(日)

会 場：首都大学東京荒川キャンパス(東京都荒川区東尾久7-2-10)

日暮里舎人ライナー、都電荒川線 熊野駅 徒歩3分

テーマ：「シーティングの可能性を拓く」

大会長：阿部高家(リハビリテーション天草病院、日本シーティング・コンサルタント協会理事)

特別講演：太田 喜久夫 先生(国際医療福祉大学医学部教授)

内 容：特別講演、一般演題、企業セミナー、事務局セッションなど

会 費：会員10,000円(事前登録8,000円)、非会員10,000円(抄録別)、

学生2,000円(抄録別)、1日参加 会員5,000円 非会員6,000円(抄録別)

詳細につきましては協会HP(<http://seating-consultants.org/>)をご覧ください。

地域作業療法推進部(地域包括ケア推進グループ・認知症支援推進グループ)からののお知らせ

会員の皆様には、「地域支援事業等に関するアンケート調査(H29年1月～2月調査)」にご協力いただき、誠にありがとうございました。お陰様で75名の方からご返信いただきました(回収率9.3%)。以下に簡単ですが、調査結果についてご報告いたします。

まず、語の理解についてですが、①地域包括ケアシステム、②介護予防事業、③地域ケア会議、④認知症初期集中支援チームの順で認知度が高く、「地域包括ケアシステム」は約78%の方が知っていると回答しました(図1参照)。これらの認知度は、昨年と比較し、平均5%程度、認知度が向上しています。

次に地域支援事業などへの関与実態については、各市町村の介護予防事業に関与している(していた)と回答した方が22名(29.3%)で一番多く、地域ケア会議や認知症初期集中支援チームへの参加はわずかで、昨年と同様に参加機会が少ない傾向でした。

最後に、地域支援事業などへの「参加の希望」については、「ぜひ参加したい」「できれば参加したい」と回答した人は、介護予防事業で43名(57.3%)、地域ケア会議で42名(56%)、認知症初期集中で35名(46.6%)、地域包括支援センター業務で36名(48%)、県作業療法士会が開催する地域リハ関連の勉強会は51名(68%)でした。

アンケート回答者が昨年と同じではないですが、地域リハ関連への認識は徐々に向上している傾向を認めました。一方、昨年と同様に関与実態には変化がなく、関与が出来る体制づくりや行政との連携強化が必要であると考えられました。これまで地域作業療法推進部では行政向けパンフレットの作成・配布や窓口の設置などを行ってきました。しかし、行政からは「具体的にOTに何が出来る職種かわかりにくい」との意見もありました。今まで当部で企画してきた研修会は、OTを主な対象としておりましたが、今年度からは県からの依頼もあり、他職種を主たる対象とした認知症ケア対応能力向上研修なども開催予定です。6月3日に実施した、認知症初期対応能力向上研修会では、介護支援専門員や地域包括支援センター職員を中心に多数の参加があり、参加者の半数以上が他職種でした。それら研修会を通じて、他職種にOTについて理解して頂くきっかけにもなればと考えております。

今年度から介護予防・日常生活支援総合事業が全ての市町村で開始されています。地域で作業療法士が活躍できるように必要な情報提供や地域へ出やすい体制整備、地域で活かせる知識が得られる研修会などを企画して参りますので、今後とも皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

(H29年7月 地域作業療法推進部 青木佑太)

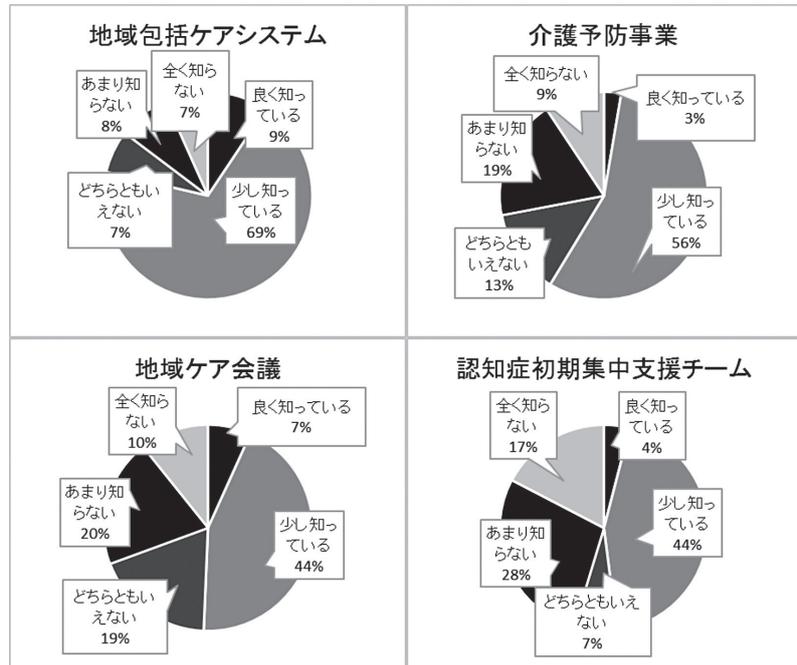


図1 地域支援事業関連用語の認知度

群馬県作業療法士会員の学術活動支援企画

群馬県作業療法士会では、会員の学術活動を促進するために、下記の勉強会を企画することになりました。多くのご応募をお待ちしています。

【目的】 日々の臨床で感じる疑問を①具体化、言語化し、②学術研究に適した研究デザインを構築、③正しい統計処理を実施、④学術発表の場で発表できる能力を備えた会員を育成する。

【対象】 学会発表に関心のある県士会員4名

【スケジュール】 7～2月：月1回の勉強会（全日程の参加を原則とし、日時は参加者決定後に調整）
会場：群馬大学
（翌年）7～8月：学会発表前の原稿作成

	OT学会	一般的応募スケジュール	当勉強会
2017年 7月		テーマの検討	アイデアの具体化
8月			〃
9月			「文献検索」解説
10月		発表内容の検討	データ収集
11月			〃
12月			「統計ソフト(SPSS)使用」解説
2018年 1月	演題応募	演題原稿作成・応募	「演題登録原稿作成」解説
2月	演題応募		〃
3月			
4月			
5月	結果通知		
6月			
7月		発表原稿作成	発表原稿作成
8月			〃
9月	発表学会		

【担当者】 学術部学術研究グループ 近藤 健（公立藤岡総合病院）／李 範爽（群馬大学）

【応募締め切り】 2017年7月31日（月）※8月からの参加になります。

メール(n-reha@fujioka-hosp.or.jp)で所属、氏名、経験年数をご連絡ください。

ニュース編集グループからのお知らせとお願い

募 集 し て い ま す !!

ニュース編集委員では、この「からっ風通信」の最終項にて、毎回県士会員の皆さまからのご意見や要望を、随時募集頂いていますが、改めてのお知らせです。

- ◎ こんな記事を書いてほしい!
- ◎ こんな情報を載せてほしい!
- ◎ こんなコーナーを作ってはどうか?
- ◎ もっと〇〇なら良いのに…
- ◎ 〇〇先生の記事を読んでみたい! などなど…

みんなが読みたいと思う、読んだら役に立つ…
そんなニュースを作っていきたいと思えます。

特に!!

新コーナー作成などの「からっ風通信」へのリクエストやアイデアは大募集しています。常にニュース編集グループではこの辺りは悩みのタネとなっています…。

ぜひ、皆さまのお力を…
ぜひ、OTとしてのアイデアを…
お待ちしておりますm(_)_m。



アドレス: dc_nanohana@yahoo.co.jp
広報部ニュース編集グループ 西毛病院 反町拓海

孫の手・ぐんま

孫の手・ぐんまの社名は「かゆい所にも手が届く」という思いやり、気配りを持ってサービスを行っていくという気持ちを表しています。経営理念は「人生楽しむべし」です。人生の大半を占める仕事を楽しむ姿勢（自立した社員になること）が、人生全般の充実、ひいては利用者様への質の高いサービスにつながるということを願いが込められています。

株式会社孫の手・ぐんまは平成13年に有限会社ハッピーラブハッピーとして設立され、同年に訪問看護ステーション孫の手を開所し、リハ職の訪問を開始しました。その後、H15年太田市、H17年栃木県足利市、H25前橋市にリハ職配置の大規模デイサービスを開所しました。ご利用者様へ途切れぬサービス提供のためH27年には、みどり市にデイサービス・サービス付高齢者住宅、訪問介護、ショートステイをリハ職配置で開設しました。またここには、地域向けサロン（幸・カフェ）と事業所内託児所（孫ちゃんハウス）を併設しています。H29には前橋市に訪問看護ステーションを開設し、直近では4月に高崎市と栃木県宇都宮市にデイサービスを開設しました。現在従業員数（平成29年3月時点）は213名で、理学療法士38名、作業療法士12名、言語聴覚士6名が在籍しています。

リハ職は主にデイサービス、訪問看護ステーションで業務を行っています。概ね50人定員のデイサービスではリハ職3名を配置し、機器に頼らず、まさに孫（の世代）の手による温もりのあるリハビリを行っています。一括的なスケジュールではなく、利用者様の「個」の価値観、リズムを重要視し、また多職種との連携を重視し、移動レベルや介助量などを全員で意見を出し合いながら決め「個」の状態に全員共有して対応できるようにしています。また、計6カ所のデイサービスのうち3事業所に電気陶芸窯があり、作業療法士の活躍の場も広がりつつあります。

訪問看護ステーションでは、群馬県、栃木県、埼玉県に及ぶエリアを実施地域とし訪問しています。作業療法士・理学療法士・言語聴覚士3職種が揃っていることで、得意分野を活かしながら、利用者様のニーズに合わせてサービスを提供できるよう日々精進しています。またみどり市にあるショートステイには、リハ職を配置し、機能訓練を行える体制を整えています。

社内教育では、独自のステップアップシート（評価基準）の導入や社内研修を外部講師も含め年間40件程度組まれ、自由参加によるスキルアップを図れる環境があります。

ものづくりの分野では、孫の手オリジナルの機能性に優れたT字杖「すてつき〜」の販売など現場経験を活かせる事業を模索しています。

リハ職も含めどんな職種もマネジメント業務に関わることも可能な職業に幅のある職場です。他職種と共有できる組織体制であり、成長できるチャンスもあります。MNS（孫の手のれん分けシステム）で新たに孫の手の新規事業所を担ってくれる方を募集するシステムも検討中です。

作業療法士をはじめ、リハ職の活躍の場は、計り知れず地域に埋もれています。地域包括ケアシステムの中では、作業療法士の役割はたくさんあると認識しています。地域でともに活動できる人間性と専門性と新たな発想をバランスよく持った方々が増えることを渴望し、一緒に働けることを切望しています。

作業療法士をはじめ、リハ職の活躍の場は、計り知れず地域に埋もれています。地域包括ケアシステムの中では、作業療法士の役割はたくさんあると認識しています。地域でともに活動できる人間性と専門性と新たな発想をバランスよく持った方々が増えることを渴望し、一緒に働けることを切望しています。



一年目を終えて・・・

医療法人社団日高会 日高病院 石田 杏実

就職して1年と数カ月が経とうとしています。職場の環境や仕事には少し慣れてきましたが、技術や知識の足りなさを痛感している毎日です。

1年前は、覚えることも多く、大学生の頃とは違う責任の重さを感じ、慣れない環境に戸惑いもありました。関わる患者様の「ありがとう。」の言葉に応えられているのか。最善な治療ができているのか。自分の知識や技術不足で悩み落ち込む事もありました。周りが見えておらず、上司や先輩方には何から何まで頼ってばかりの1年であったと反省しています。

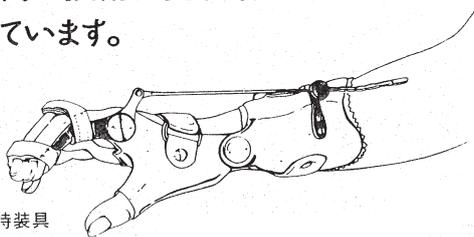
しかし、これからはそうはいきません。今では後輩を持ち、頼られる存在でなければなりません。日々の努力を惜みず向上心を持って、尊敬する上司や先輩方の下で日々、知識や技術を磨き経験を積んでいきたいと思えます。



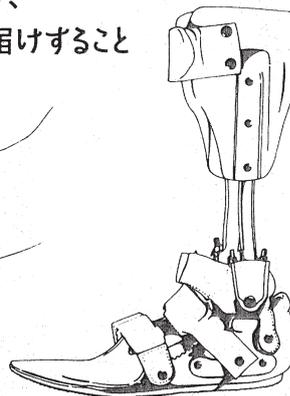
精緻さを力へ。乗り越える、支える力へ。

わたしたちは、常に現場の声に耳を傾け、患者さんひとりひとりに合った製品をお届けすることそして、新しい技術に挑戦し続けることを使命としています。

■ 把持装具



■ 座骨収納型骨格式大腿義足



■ プラスチック短下肢装具



(社)日本義肢協会会員
ISPO会員
日本義肢装具学会会員
バイオメカニズム学会会員
先端医療技術研究会会員
技術研究組合医療福祉機器研究所組合員

取扱い／義肢・装具全般、補助具、車いす

お問い合わせは

株式会社 高崎義肢

〒370 群馬県高崎市井野町1235
☎0273(61)2074(代) FAX 0273(62)6170
振替・長野5-14820

大学院社会人学生募集中



当研究室は、運動生理学手法を用いた上肢機能解析を中心に、身体障害作業療法分野全般の研究を行っています。現在県内外の作業療法士が仕事と研究を両立、修士・博士課程に在籍しています。身障分野の臨床研究に関心のある方は、当研究室で大学院を目指してみてもいかがでしょうか。毎週の勉強会は一般公開していますので、ご興味のある方はぜひご連絡ください。

群馬大学大学院 保健学研究科
教授 李範爽
leebumsuk@gunma-u.ac.jp

投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や日常業務で工夫している点、こんな研修会に参加した・・・などなど、皆様からの投稿を募集しております。
どんなことでも構いませんので、お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス : dc_nanohana@yahoo.co.jp
広報部・ニュース編集グループ
反町拓海

県士会ホームページアドレス

www.gunma-ot.com



編集後記

今年度より、何年もの間ニュース編集を担当していた先輩より、担当の引継ぎが始まりました。作業療法士と名乗って働くようになって4年目…改めてこの機会に考えてみると、たくさんの先輩方が築き上げてきた群馬県士会の一員になれていること、その中で一つの仕事を任されるということに嬉しさと不安を感じています。担当することになった以上、築き上げてこられた伝統は継続しつつ、新しい風を吹かせていこうと思っています。県士会員の皆さまには、今まで以上のご協力をお願いし、「こんなニュースにして欲しい!」という要望をお聞かせ頂きたいと思います。今年度より、しばしの間、よろしくお願い致します。 S

群馬県作業療法士会ニュース

発行者 || 新井 健五

発行所 || 群馬県作業療法士会事務局 〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL・FAX 027-224-4649

編集代表 || 反町 拓海 編集委員 || 中村 真美、関 仁紀、下田 幸、吉澤 一郎 印刷 || 星野印刷株式会社